

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
1	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費	道路河川整備課			①準用河川整備事業、河川水路整備事業、地域排水整備事業並びに雨水貯留池整備事業を遂行するために必要な経費の支出。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に予算の範囲内で整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	530	523	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	550
2	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費	道路河川整備課			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による家庭で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担軽減へつながる。 ②市民と協働し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるか。	34	30	6精査・検証	①この事業は単年で結果が出るものではなく、継続することで効果が発揮されるものであるため、効果的に実施できるよう常に検証する必要があるため。 ②設置するには、効果のある箇所を選択する。	50
3	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	道路河川整備課	○	○	①下流の状況を考慮し、段階的な整備を行う。①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修を行う。②上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②整備の目安がついていないため、整備方針等の検討に取り組めない。	11,893	3,892	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。 ②整備時期は未定であるが、整備の目安がついた段階で整備方針等の検討を行う。	9,910
4	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	道路河川整備課	○	○	①計画の策定を行い、上下流の状況を考慮し段階的な河川の改修を行う。①流下能力の向上と護岸の保護を目的とした暫定改修を行う。②50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②河川改修は下流から行うのが原則であるため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻り無いようにしなければならない。	49,258	31,059	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	148,254
5	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の直接的な原因が地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	42,528	35,509	6精査・検証	①将来形を見据えた暫定的な整備を行うしかない現状では、将来の整備に後戻りの無いよう効果的な手法の検討を行う。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	57,065
6	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	道路河川整備課	○	○	①浸水被害の軽減に必要な河川調節池の整備と流出抑制を目的とした貯留池の整備を行う。整備にあたっては、河川の整備計画との整合を図る。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能かつ効果のある場所を選定しなければならない。	68,508	235,952	7拡充	①浸水被害の軽減を図るには、下流の整備が進んでいない現状では、貯留池を整備することが最善策と考えられるため、より一層の整備を進める。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所の選定を行う。	39,032
7	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川管理に要する経費	道路河川管理課			①河川施設(調整池、貯留池)の財産、機能の適正な管理を行う。 ②水路(法定外公共物)が国から譲与されたことより、境界確定や占用許可などの管理業務が増加している。	1,579	1,683	6精査・検証	①河川台帳を整備し、河川等の更なる管理をはかるため。 ②他市町村等の河川台帳電子化の導入を調査する。	1,681

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
8	一般	8	3	2	223うるおいある河川・水路の整備	流域環境整備事業	道路河川管理課	○	○	①河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草・清掃やバトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。 ②施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。	35,730	70,247	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。 ②現状施設の機能維持及び転落による事故防止のための柵の設置を行う。	27,750